



今月の

11月号

営農・資材ニュース



うまい米づくり

石灰窒素の働きについて(水稻)

1. どうして土づくりが必要なのか

「稲は土で作れ」といわれるように、稲作にとって地力はなくてはならないものです。水稻の収量は地力に依存する割合が60%といわれています。地力とは、肥料養分を蓄える力+肥料養分を徐々に供給する力です。

2. どうしたら地力を高められるか

- ①深耕して作土を深くしましょう。
- ②排水をよくして乾田化を進めましょう。
- ③有機物を施用しましょう。



3. なぜ稲わらを腐らせる必要があるのか

田植までに有機物（稲わら）が十分に分解しないと、地力を高めるために鋤きこんだ稲わらからガスが発生して、生育障害の原因になります。

4. 稲わらを早く腐らせるには

- ①刈取り後なるべく早くすき込みましょう。
- ②すき込む前に石灰窒素を20kg/10aを施用しましょう。

5. 稲わらを腐らせるのになぜ石灰窒素がいいのか

有機物を腐熟させるのは微生物の働きによります。微生物の増殖には、主な栄養源である炭素と窒素のバランスが大切で、バランスがとれていないと増殖が進みません。稲わらの主成分は炭素ですので、窒素を施用しないとバランスがとれません。しかし、どんな窒素肥料でもいいわけではありません。

有機物が腐り始めると有機酸を発生し、酸性になります。しかし微生物は酸性を嫌い増殖しません。石灰窒素であれば窒素成分を含んだアルカリ性の肥料ですので、酸性を中和でき微生物が増殖します。

6. 石灰窒素の使い方

出来るだけ年内に20kg/10aを施用して稲わらをすき込みましょう。

(ジャンボタニシにも効果があります。)

※裏面ではJAならけんで取り扱っている土づくりに適した商品の一例を紹介しています。※

肥料効果・農薬効果・土づくり効果が実現！

大気、水、土を汚さない緩効的な窒素質肥料・農薬

石灰窒素



石灰石を原料とするカーバイドに、高温で窒素を吸収化合させて製造します。主成分であるカルシウムシアナミドは、農薬効果を発揮した後、土壤中で肥料成分に分解されます。安心してお使いいただくために、30種類以上の試験を実施し、農薬取締法に基づき厳正な審査を受け、農薬としても登録されています。

成分	品 種	肥料保証成分 (%)		農薬有効成分 (%)
		窒素	アルカリ分	カルシウムシアナミド
	粒 状	20	55	55
	粉 状	21	55	50

使い方

腐熟促進：すき込み時
麦稈・稲わら500kgあたり20～40kg/10a

特 長

- ① 有機物の腐熟を促進し、膨軟な土づくりができる。
- ② 土壤の酸性度が矯正される。
- ③ 土壤から流亡しにくく、環境にやさしい。
- ④ 農薬成分が残留せず、安心・安全な農作物が収穫できる。

石灰窒素は、窒素として硫安 1 袋分、アルカリ分として苦土石灰 1 袋分相当あり、緩効性窒素肥料と農薬、腐熟促進等の効果を併せ持ち、成分と効果を合算すると価格以上の資材です。

お問い合わせは、お近くのJAならけん営農経済センターへ

発行：本店 営農振興部営農推進課 経済部農業資材課

